

2023年12月 8 日

アクションプランの取組状況

令和5年度第2四半期（7月～9月）のアクションプランの取組状況をご紹介します。
アクションプランに対する地域の皆様のご理解とご協力に深く感謝を申し上げます。
当社は、令和3（2021）年度から令和5（2023）年度に取り組む第2期事業計画（アクションプラン）を策定し、線区の活性化のため、地域の皆様と一体となって利用促進・経費節減に取り組んでおります。

※ アクションプランについては当社ホームページに掲載していますのでご参照ください。

1. 取組状況について

- インバウンドのお客様の誘致に向け、海外のインフルエンサーにSNSで線区や沿線地域の魅力を発信していただく取組みを実施しました。
- 地域の児童の皆様に鉄道への関心を高めてもらう取組みとして、駅や運転所の見学ツアーや体験乗車を実施しました。
- 観光列車、団体臨時列車の運行にあわせて、地域の皆さまによる特産品販売やお出迎え等を実施しました。

- 地域の皆様のご理解とご協力に深く感謝を申し上げます。

2. 今後の進め方について

- 引き続き地域の皆様と線区の活性化のため、アクションプランを推進し、利用促進・経費節減に取り組んでまいります。
- 地域の皆様とともに実施した調査・実証事業の結果を分析し、総括的検証、抜本的な改善方策の検討を行います。

釧網線(釧路～網走間)

「夕陽ノロッコ号」の運転 (9月20日撮影・塘路駅)



9月20日から22日まで、「くしろ湿原ノロッコ号」の運転時刻を日の入りの時間帯に合わせた「夕陽ノロッコ号」を運行し、約1,300名が乗車されました。塘路駅ではこれに合わせて、標茶町によりノロッコ号ご利用のお客様へノベルティの配布などを行いました。

「釧網本線魅力発信事業」の実施 (8月26日撮影・桂台駅)



釧網本線維持活性化実行委員会とWILLER(株)は、海外に釧網線の魅力をSNSで発信する取り組みを実施しました。台湾のインフルエンサー2名が8月25日から27日まで、釧網線や沿線地域取材し、桂台駅ではレトロな木製待合室があり、木々に囲まれてアニメの世界のようだと発信しました。

花咲線(釧路～根室間)

台湾テレビ局・インフルエンサーによる花咲線の魅力発信 (9月12日撮影)



根室市は、「利用可能性調査事業」として、台湾のテレビ局とインフルエンサーを招き、インバウンドのお客様の誘致に向けた情報発信を実施しました。9月11日から15日まで、花咲線や沿線地域の魅力を撮影し、台湾のテレビニュースで取り上げたほか、SNSでも広く発信しました。

いつもの列車で観光気分の取り組み



花咲線では、いつもの列車で観光気分の取り組みの一つとして、ご当地弁当を事前注文し乗車前に根室駅又は落石駅に届ける取り組みを7月1日から開始しました。9月30日までの期間、根室駅では116個、落石駅では56個の販売がありました。

石北線(旭川～網走間)

ミステリートレイン2023の実施



北見市は、7月15日から8月13日まで、北見駅から美幌駅までJRで向かい、美幌の町を歩きクイズを解く「ミステリートレイン2023」を実施しました。参加者からの要望を受け、これまでの土日のみから期間中毎日開催とし、約400名が参加しました。

上川駅開駅100年記念ツアーでの特産品販売等の実施 (9月9日撮影・上川駅)



上川町は、9月9日と10日に、上川駅開駅100周年記念ツアーに合わせ、上川駅でツアー参加のお客様に特産品を販売したほか、ご当地キャラクターによるお出迎えも実施しました。

宗谷線(旭川～稚内間)

「THE ROYAL EXPRESS」宗谷線初運行 (9月9日撮影・南稚内駅/稚内駅)



「THE ROYAL EXPRESS」が、今年新たに「HOKKAIDO日本最北端の旅」として9月9・10日、16・17日、23・24日に宗谷線を初めて運行しました。これに合わせ停車駅では、地域の皆様がお出迎え、お見送り等のおもてなしを実施しました。

ボランティアによる駅的环境美化 (8月28日撮影・和寒駅)



8月28日、和寒町役場職員80名によるボランティア活動として、和寒駅・塩狩駅の駅舎内および駅周辺の清掃等を実施しました。また、和寒駅待合室の椅子に敷く座布団20枚を寄贈しました。

富良野線(富良野～旭川間)

「旭川駅&運転所見学ツアー」の実施 (7月26日撮影・旭川運転所)



JR富良野線連絡会議は、7月26日と8月11日に富良野線沿線の小学生を対象とした「旭川駅&運転所ツアー」を実施しました。合計約80名が参加し、普段見ることができない旭川駅や旭川運転所の施設等を見学しました。

「駅マルシェ2023」の実施 (9月16日撮影・旭川駅)



旭川市は、9月16日から9月18日まで旭川駅構内と旭川駅前「駅マルシェ2023」を開催しました。3日間で約16万7千名が来場し、旭川駅の賑わい創出と鉄道利用の促進を図りました。

室蘭線(苫小牧～岩見沢間)

早来駅でお祭りクーポン券を配布 (7月1日撮影・早来駅)



安平町は、7月1日・2日に開催した「あびら夏!うまかまつり」にあわせ、JRをご利用の来場者限定として、お祭り会場で使える1,000円分のクーポン券を早来駅にて配布しました。当初予想した250枚を大きく上回る約340枚を配布し、室蘭線の利用促進を図りました。

「鉄道フェスティバル in 北海道」への出展 (9月23日撮影・イベント会場)



JR室蘭線活性化連絡協議会は9月23日、「鉄道フェスティバル in 北海道」に出展しました。イベント当日は、室蘭線の紹介やPR活動のほか、地域の特産品の販売やノベルティ等の配布を行い、室蘭線の魅力を発信しました。

根室線(滝川～新得間)

高校生ボランティアによるポーターサービスの実施 (7月22日撮影・富良野駅)



7月22日から9月10日までの一部週末、富良野線峰高校の生徒有志が富良野駅にフラノラベンダーエクスプレスが到着する時間に合わせ、乗客の手荷物をホームから改札まで無料で運ぶポーターサービスを行いました。

小学校行事等における鉄道乗車体験の実施 (7月6日撮影・下金山駅 / 7月27日撮影・東鹿越駅)



南富良野町は、鉄道への興味・関心を高めてもらうための取組みとして、町内の小学生を対象とした、鉄道乗車体験を実施しました。遠足や子ども会の行事で、合計27名の児童が体験乗車しました。

日高線(苫小牧～鷗川間)

「むかわグルメフェスタ」にあわせた日高線利用促進 (9月24日撮影)



9月24日開催の「むかわグルメフェスタ」にあわせ、JRでの来場を呼びかけるポスターを作成し、札幌圏の主要駅に掲出しました。またイベント当日にはむかわ竜ラッピングトレインを運行し、合計で約110名のお客様にご利用いただきました。

イベント開催案内ポスターで日高線PR (8月5日撮影)



8月6日に開催された、サーフィン大会「厚真町長杯」と厚真町内の飲食店・農家が集まるマルシェ「meet up Atsuma」が融合したイベントにあわせ、日高線の利用促進のためのポスターを作成し、近隣の駅に掲出しました。